

株式会社ニッカトー 2017年9月期決算説明資料

目次

1. 2017年9月期業績概要
2. 2018年3月期業績予想
3. 事業トピックス

目次

1. 2017年9月期業績概要

2. 2018年3月期業績予想

3. 事業トピックス

経営成績の概要

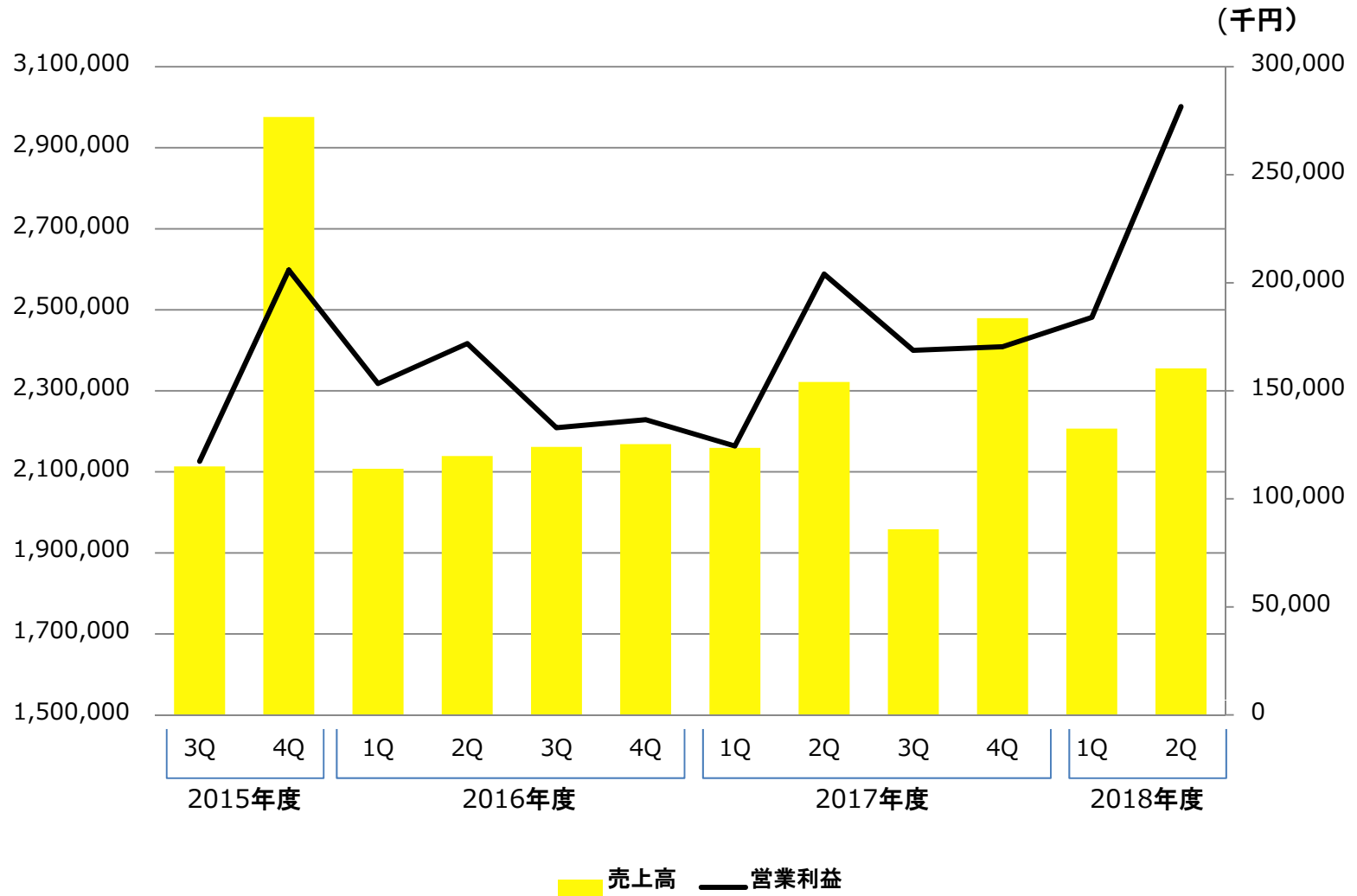
(単位：千円)

	2016年9月期		2017年9月期		対前年	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率
売上高	4,481,272		4,562,298		81,025	1.8%
売上原価	3,515,053	78.4%	3,436,341	75.3%	-78,711	-
販売費及び一般管理費	637,683	14.2%	660,446	14.5%	22,763	3.6%
営業利益	328,535	7.3%	465,509	10.2%	136,974	41.7%
経常利益	344,016	7.7%	476,730	10.4%	132,714	38.6%
当期純利益	232,832	5.2%	318,795	7.00%	85,962	36.9%

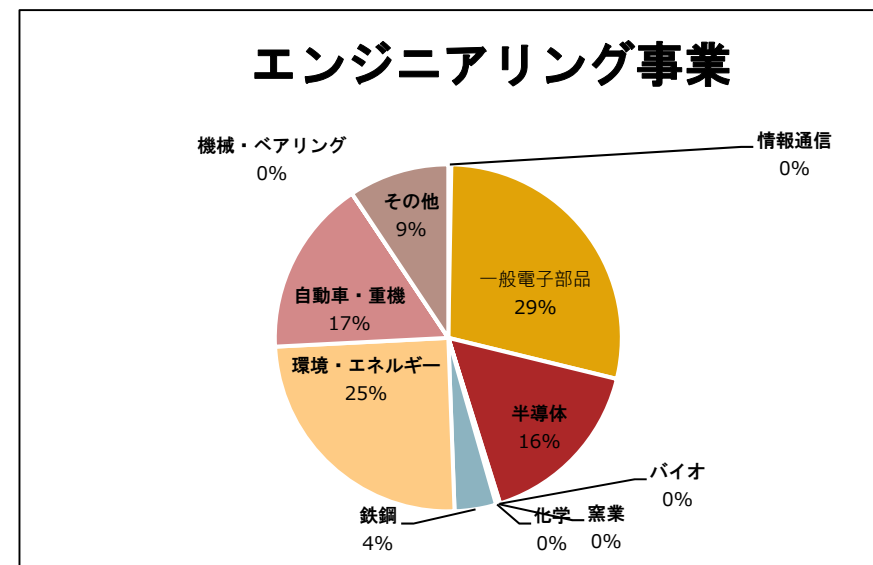
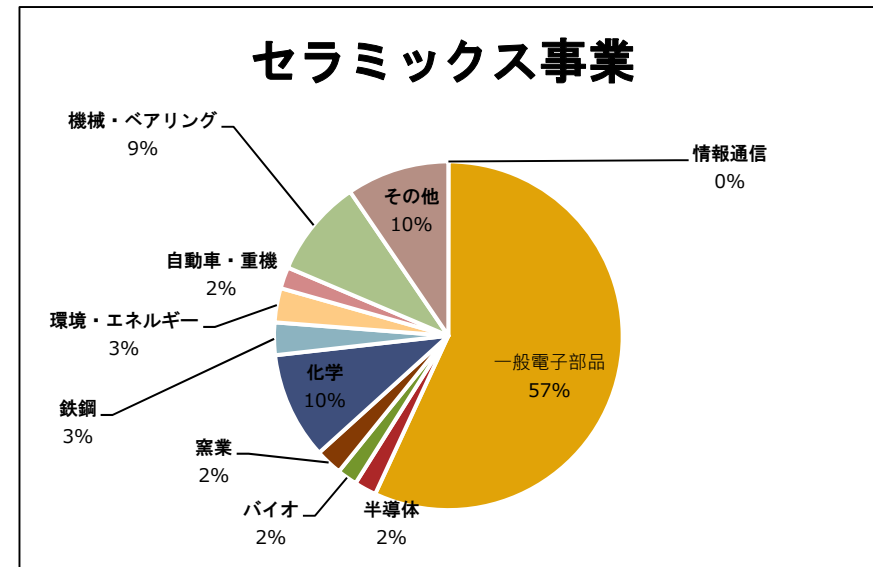
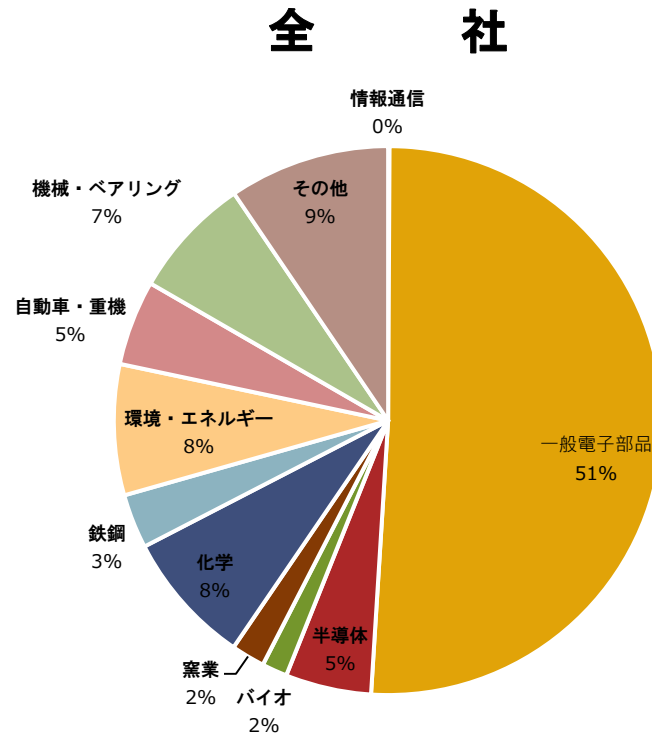
研究開発費	98,704	2.2%	99,942	2.2%	1,237	1.3%
EPS(円)	19.51	-	26.71	-	7.20	-
ROA (%)	3.6	-	4.6	-	1.0	-
ROE (%)	5.0	-	6.2	-	1.2	-

※ROA・ROEの数値は第2四半期の実績値を通期換算して計算いたしております。

売上高推移（四半期毎）



マーケット別構成比

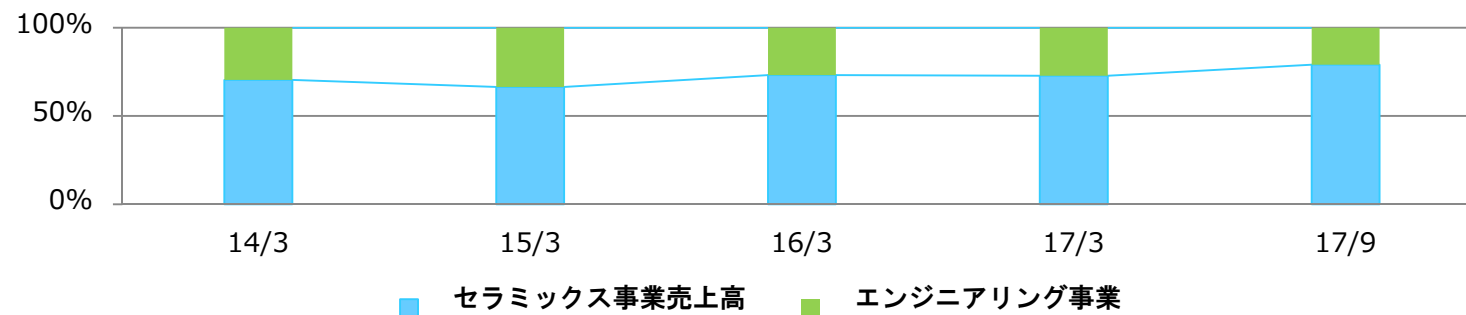


セグメント別業績

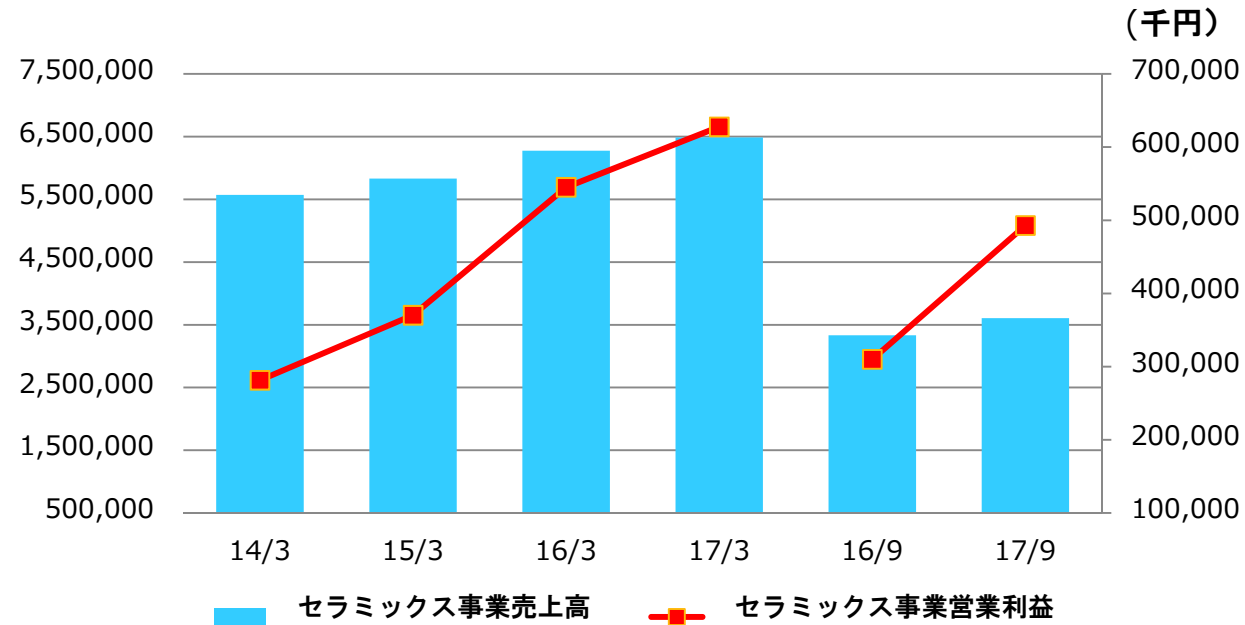
(千円)

	2016年9月期		2017年9月期		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	4,481,272	-	4,562,298	-	1.8%
セラミックス事業					
機能性セラミックス	202,111	4.5%	219,594	4.8%	8.6%
耐摩耗セラミックス	2,206,803	49.3%	2,312,005	50.7%	4.8%
耐熱セラミックス	816,428	18.2%	970,725	21.3%	18.9%
理化学用陶磁器他	107,341	2.4%	102,914	2.2%	△4.1%
合 計	3,332,684	74.4%	3,605,240	79.0%	8.2%
エンジニアリング事業					
加熱装置	491,756	11.0%	261,819	5.7%	△46.8%
計測機器・同システム	656,831	14.6%	695,238	15.3%	5.8%
合 計	1,148,588	25.6%	957,057	21.0%	△16.7%
営業利益	328,535	-	465,509	-	-
セラミックス事業	309,997	-	492,896	-	-
エンジニアリング事業	18,537	-	-27,385	-	-

売上構成比の推移

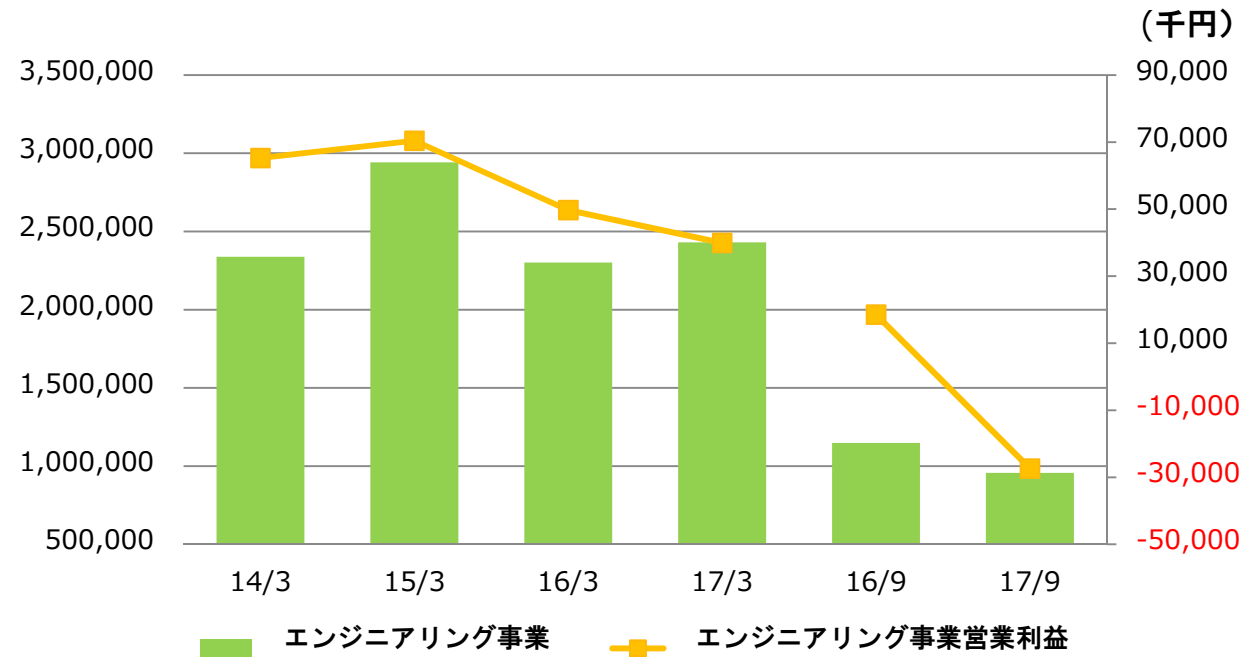


セラミックス事業



- Y T Z ボールの売上が引き続き好調
- セラミックスローラーも復調気配
- 工場の稼働率も高水準を維持

エンジニアリング事業



- 受注は堅調に推移
- 加熱装置の拡販に注力

貸借対照表

	17/3末	17/9末	増減率
流動資産	8,001,668	8,087,602	1.1%
現金預金	2,892,044	2,686,758	△ 7.1%
売掛債権	3,078,731	3,253,870	5.7%
棚卸資産	1,815,431	1,930,643	6.3%
その他	215,461	216,329	0.4%
固定資産	5,642,693	5,863,354	3.9%
有形固定資産	3,387,352	3,287,774	△ 2.9%
無形固定資産	57,838	59,436	2.8%
投資その他	2,197,501	2,516,143	14.5%
資産合計	13,644,361	13,950,956	2.2%

- ・ **流動資産**
現金預金 売掛債権・棚卸資産の増加に伴い現金預金は減少
- ・ **固定資産**
無形固定資産 ソフトウェアの取得に伴い増加
投資その他 株価上昇に伴う投資有価証券の評価増に伴い増加

(千円)

	17/3末	17/9末	増減率
流動負債	3,258,332	3,033,411	△ 6.9%
買掛債務	1,538,873	1,651,824	7.3%
短期借入金	556,508	550,680	△ 1.0%
その他	1,162,950	830,907	△ 28.6%
固定負債	530,875	613,892	15.6%
長期借入金	100,048	107,524	7.5%
その他	430,827	506,368	17.5%
純資産	9,855,153	10,303,652	4.6%
株主資本	9,379,328	9,602,540	2.4%
評価・差額等	475,825	701,112	47.3%
負債・純資産合計	13,644,361	13,950,956	2.2%

- ・ **流動負債**
その他 未払金・営業外電子記録債務の減少により減少
- ・ **固定負債**
その他 繰延税金負債が増加
- ・ **純資産**
株主資本 利益剰余金の増加に伴い増加
評価・差額等 株価上昇に伴う評価差額金の増加に伴い増加

キャッシュフロー計算書

(千円)

	16/9末	17/9末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	517,519	377,164	△ 140,355
税引前当期純利益	342,861	475,383	132,522
減価償却費	230,146	260,767	30,621
棚卸資産の増減額	175,990	△ 115,212	△ 291,202
その他	△ 231,478	△ 243,773	△ 12,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 63,146	△ 488,566	△ 425,419
有形固定資産の取得	△ 181,304	△ 482,035	△ 300,731
その他	118,158	△ 6,530	△ 124,688
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 546	△ 93,883	△ 93,316
配当金の支払額	△ 83,507	△ 95,442	△ 11,915
その他	82,960	1,559	△ 81,401
現金等の増減額	453,825	△ 205,285	△ 659,090
現金等の期末残高	2,274,590	2,666,758	392,168

・ 営業CF
棚卸資産の増減
在庫の増加

・ 投資CF
有形固定資産の取得
セラミックス事業設備投資

・ 財務CF
配当金の支払額
配当額6円→8円

その他
借入金の返済による減少

目次

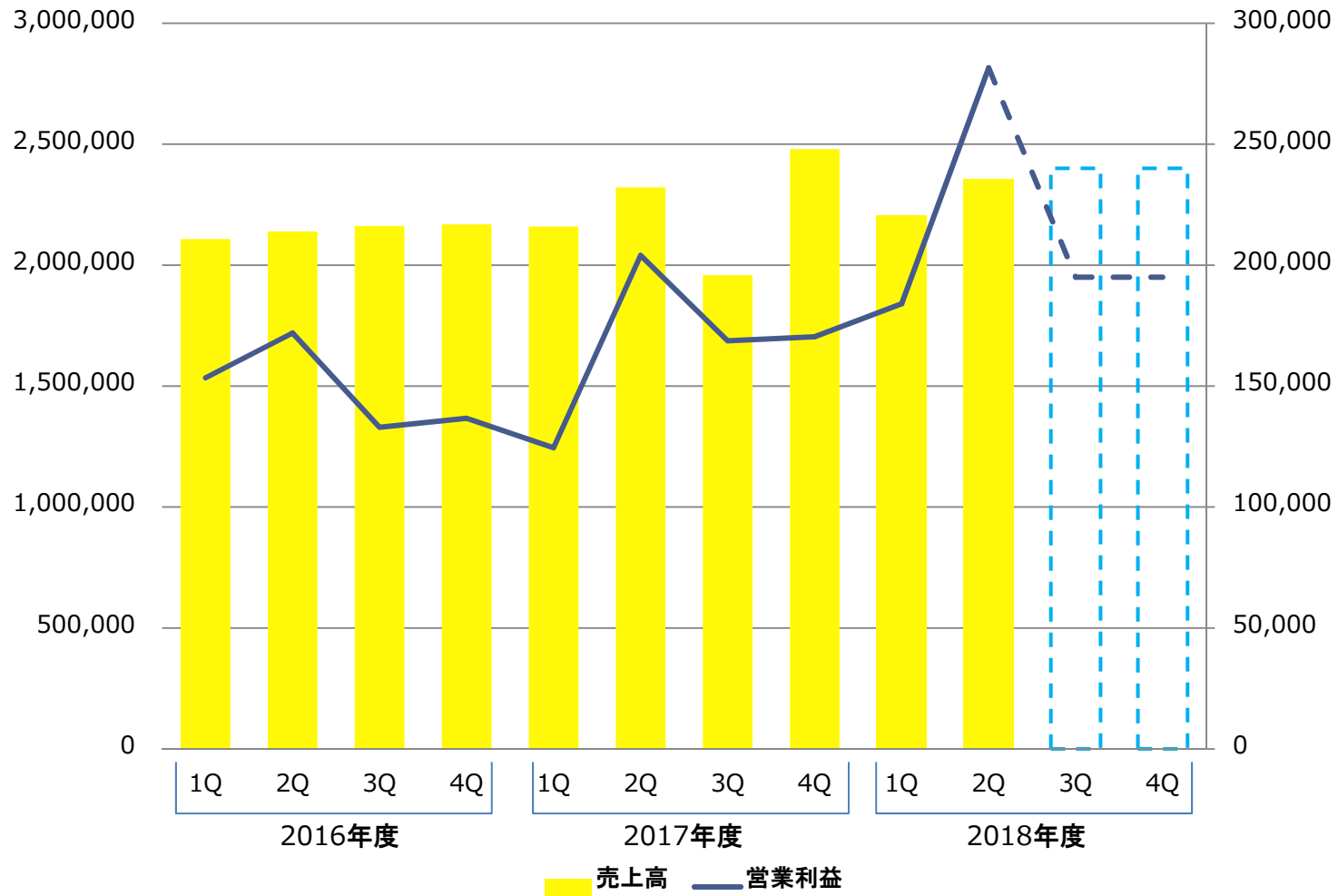
1. 2017年3月期業績概要
- 2. 2018年3月期業績予想**
3. 事業トピックス

2018年3月期業績予想 (1)

(千円)

	第2四半期(予測)		第2四半期(実績)		対予測(上期)比	2018年3月期(予測)		対予測(通期)比
	金額	売上比	金額	売上比	達成率	金額	売上比	進捗率
売上高	4,600,000		4,562,298		99.2%	9,400,000		48.5%
売上原価	3,600,000	78.3%	3,436,341	75.3%	95.5%	7,300,000	77.7%	47.1%
販売費及び一般管理費	610,000	13.3%	660,446	14.5%	108.3%	1,320,000	14.0%	50.0%
営業利益	390,000	8.5%	465,509	10.2%	119.4%	780,000	8.3%	59.7%
経常利益	400,000	8.7%	476,730	10.4%	119.2%	800,000	8.5%	59.6%
当期純利益	270,000	5.9%	318,795	7.0%	118.1%	540,000	5.7%	59.0%

2018年3月期業績予想 (2)

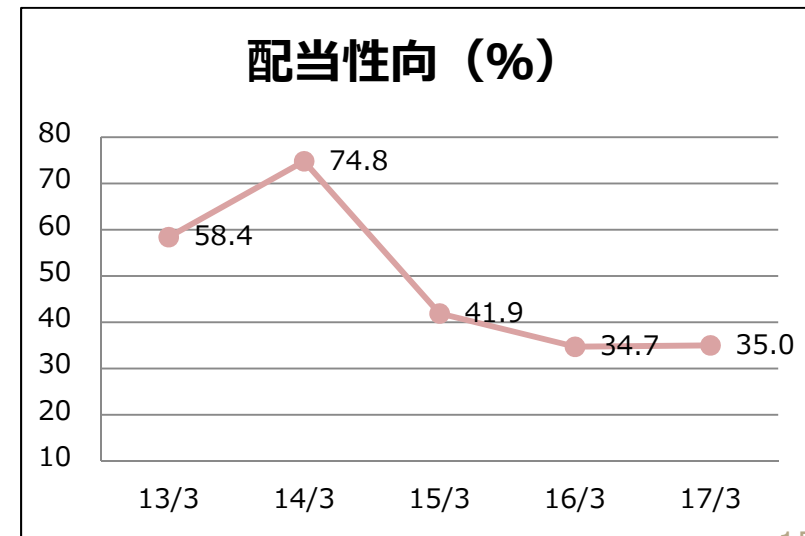
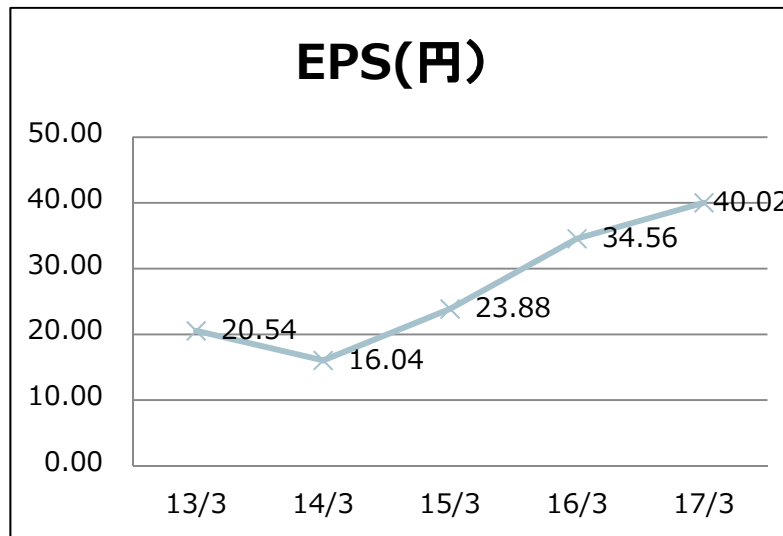
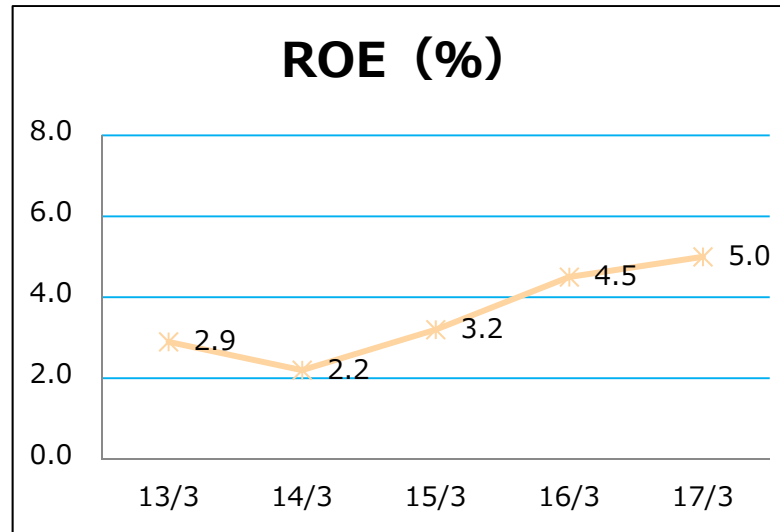


目標とする経営指標（1）

- ・ ROE（自己資本当期純利益率）
→8%以上
- ・ EPS（1株当たり当期純利益）
→50円以上
- ・ 配当性向
→30%～50%

目標とする経営指標 (2)

(過年度実績)



目次

1. 2017年3月期業績概要
2. 2018年3月期業績予想
- 3. 事業トピックス**

YTZ®ボール

●特徴●

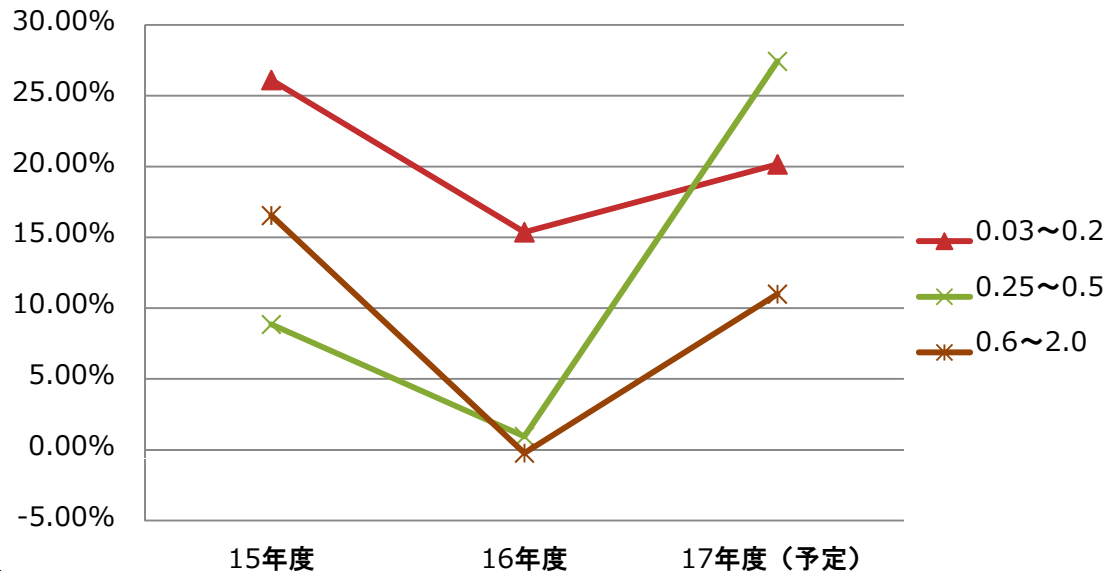
YTZ®ボールは、高密度、高強度、高靱性および微細組織からなる耐摩耗性、耐久性に優れたジルコニア製粉碎・分散用ボールです。
YTZ®ボールは、これらの高特性に加え、高い粉碎・分散効率を有しているため、高機能材料に要求される粉体特性を満足させることができます。

●用途●

- ・誘電体、圧電体、磁性体などの電子部品材料
- ・蛍光体、電池用電極材料
- ・顔料・ペイントなど
- ・医療、農薬、粉末食品
- ・ファインセラミックス材料

粉砕・分散用

●主力小球サイズ別販売数量の増減率推移表（前年対比）●



機能性セラミックスフィルターチューブ

近年、環境関連事業、エネルギー関連事業が注目される中、当社におきましても当分野に関連した製品の需要が高まっております。

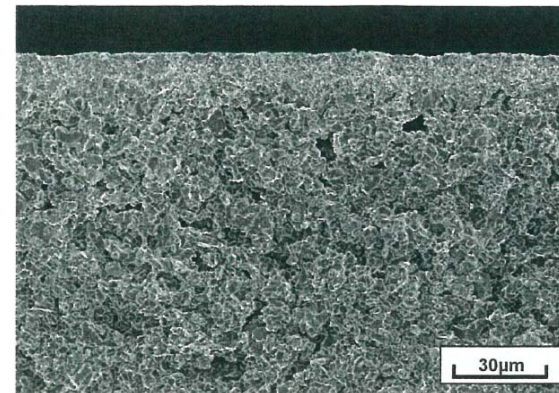
当社では、従来より当社が得意とするセラミックスチューブの製造ノウハウを生かし、各種フィルターに使用可能なセラミックス基体管の開発・製造を積極的に行っております。現在、浄水用フィルターチューブ、バイオエタノール脱水プロセス用フィルターチューブ、さらにはアンモニア等のエネルギーキャリアから水素のみを選択透過させることを目的とした、気体分離・精製用フィルターチューブなど幅広い用途への拡販を進めております。

直近では、今期に入り、自治体向け浄水処理プラントの新工事が決定し、フィルターチューブ数十万本が必要になるなど、当面安定した稼働が続く見通しです。

現在、当社の主力である電子部品市場向け及びベアリング市場向け耐摩耗セラミックスに次ぐ、第3の柱とすべく、環境・エネルギー市場への展開を進め、科学技術の発展と社会に貢献してまいります。



浄水用ムライトフィルターチューブ



アルミナ基体管（開発品）

（注）本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。